

# ワイヤレストラックボールマウス取扱説明書

MA-WTB36LP



最初に  
ご確認ください

- マウス本体 ..... 1台
- 小型レーザー ..... 1台
- 単四乾電池(テスト用) ... 2本
- 携帯用ポーチ ..... 1個
- 取扱説明書 ..... 1部

本取扱説明書の内容は、予告なしに変更になる場合があります。  
最新の情報は、弊社WEBサイト(<http://www.sanwa.co.jp/>)をご覧ください。

デザイン及び仕様については改良のため予告なしに変更することがございます。  
本書に記載の社名及び製品名は各社の商標又は登録商標です。

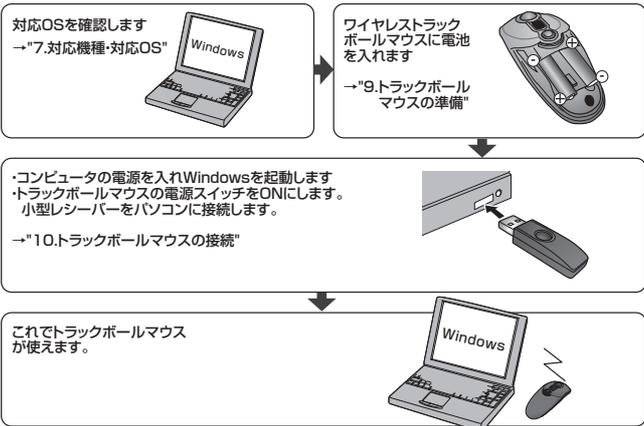
サンワサプライ株式会社

## 目次

1. ワイヤレストラックボールマウスの接続手順
2. 特長
3. レーザーポインターの安全上のご注意(必ずお守りください)
4. レーザーセンサーを安全にご使用していただくために
5. 警告
6. 健康に関する注意
7. 対応機種・対応OS
8. トラックボールマウスの接続(レーザーを接続する前にお読みください。)
9. トラックボールマウスの準備(電池の挿入、電源のON・OFF)
10. トラックボールマウスの接続(レーザーの接続)
11. IDの設定方法(ID設定はパソコンにトラックボールマウスを識別させる作業です。)
12. 本製品の使用方法
13. 「故障かな…」と思ったら
14. 保証規定

## 1. ワイヤレストラックボールマウスの接続手順

詳細は各項目をご覧ください。



## 2. 特長

この度は、ワイヤレストラックボールマウスをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。  
本製品は2.4GHz RF方式のワイヤレスです。入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、通信範囲は最大半径10mで、快適な環境でコンピュータ操作が可能になります。  
本製品はレーザーマウスにプレゼンター機能を統合し、机上ではワイヤレスレーザーマウス、空中ではトラックボールモードになります。また赤色レーザーポインター機能を搭載しているため、プレゼンテーションを行う際効果的な説明ができます。Auto-mode機能搭載で、デスクトップでのマウスモードと空中でのトラックボールモードは自動で切り替わります。  
本製品はレーザーポインター機能を搭載しており、プレゼンテーションの際、威力を発揮します。  
※ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お手元に置き、いつでも確認できるようにしておいてください。

## 3. レーザーポインターの安全上のご注意(必ずお守りください)

- 警告
  - レーザー照射口をのぞきこんだり、レーザー光を人に向けてください。また、本製品をお子さまに使用させないでください。目を痛める恐れがあります。
  - レーザー光を鏡などに照射すると、反射光で目を痛める恐れがありますのでご注意ください。
  - 乳幼児の手の届かない場所に保管してください。けがなどの原因となります。
  - 万一、本製品が極端に発熱している、煙がでている、変な臭いや音がするなどの異常があるときは、直ちに使用を中止してください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。
- 注意
  - 万が一本製品が破損した場合はご使用を中止してください。けがの原因となります。
  - 1ヶ月以上の長期間使用しないときは、本体から電池を外してください。液漏れの原因となります。
  - 長時間連続して照射し続けると発熱し、レーザー光が弱くなる場合があります。長時間におよぶ連続使用(押しっぱなし)はできるだけ避けしてください。
  - 電池の方向は正しく入れてください。故障の原因となります。
  - 風呂場などの湿気が多い場所では絶対に使用しないでください。感電の原因となります。
  - 濡れた手で接続・取外しは行わないでください。感電の原因となります。
  - 直射日光や高温になる場所に置かないでください。故障の原因となります。
  - 本製品の分解・改造・修理は絶対に行わないでください。故障やけがの原因となります。またそれらを行った場合の保証は致しかねますのでご了承ください。
  - お手入れの際は、必ず乾電池を取出した状態で行ってください。乾いた柔らかい布で拭きってください。

## 4. レーザーセンサーを安全にご使用していただくために

- 本製品は、IEC60825-1 Edition 1.2<sup>2001</sup>、JIS規格クラス1レーザープロダクトに準拠しています。  
本製品は通常の使用においては、きわめて安全ですが、使用上の注意を守って正しくお使いください。
- レーザーセンサー穴をずっと見たり、他人の目に向けてください。
  - 製品を分解したり、改造したりしないでください。
  - 0℃~40℃の気温環境でお使いください。
  - 本製品に衝撃を加えないようにしてください。
  - 保証規定をよく読み正しくお使いください。

## 5. 警告

■テレビ・ラジオの受信障害について  
本製品は、FCCの定めるクラスBのコンピュータ機器に対する許容条件につき、所定の審査の上、FCC-15章の規定内容に適合するものとして認定されています。FCC-15章は居住環境において防止すべき受信障害の規制基準を定めたものですが、装置の設置状況によっては受信障害が発生する場合があります。  
ご使用のコンピュータシステムが受信障害の原因となっているかどうかは、そのシステムの電源を切ることで確認いただけます。電源を切ることで受信障害が解消されれば、ご利用のコンピュータ、あるいは、その周辺装置が原因であると考えられます。  
ご使用のコンピュータシステムがテレビやラジオの受信状態に影響している場合、以下の手順のいずれか、あるいはいくつかを組合わせてお試しください。  
●テレビまたはラジオのアンテナの向きを変え、受信障害の発生しない位置を探してみてください。  
●テレビまたはラジオから離れた場所にコンピュータを設定し直してください。  
●テレビまたはラジオとは別の電源供給路にあるコンセントにコンピュータを接続してください。  
●状況に応じ、テレビ・ラジオの修理業者またはマウスの販売店にもご相談いただけます。

## 6. 健康に関する注意

マウスやトラックボール、キーボードを長時間操作すると、手や腕や首、肩などに負担が掛かり痛みや痺れを感じる場合があります。そのまま操作を繰り返していると、場合によっては深刻な障害を引き起こす恐れがあります。マウスやキーボードを操作中に身体に痛みや痺れを感じたら、直ちに操作を中止し、場合によっては医師に相談してください。  
また日常のコンピュータ操作では定期的に休憩を取り、手や腕や首、肩など身体に負担が掛からないように心がけてください。

## 7. 対応機種・対応OS

- 対応機種
  - Windows搭載パソコン
  - 各社DOS/Vパソコン、NEC PC98-NXシリーズ
  - ※USBポート(Aタイプコネクタ)を持つ機種。
- 対応OS
  - USB接続:Windows 7・Vista・XP・2000
  - ※機種により対応できないものもあります。
  - ※この文章中に表記されるその他すべての製品名などは、それぞれのメーカーの登録商標、商標です。

## 8. トラックボールマウスの接続(レーザーを接続する前にお読みください。)

### ■本製品(レーザー)をUSBポート接続する際の注意

本製品はWindowsにおいて自動認識され、使用可能となります。まず最初にUSBインターフェイスが正常に動作しているかどうかをチェックしてください。

「スタート」→「設定(S)」→「コントロールパネル(C)」→「システム」の順に選択し、「デバイスマネージャー」タブをクリックしてください。「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」をチェックしてください。右の画面が表示されます。これはUSBインターフェイスの正常な動作状況です。USBデバイスアイコンに「!」マークが表示されていたり、または「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のデバイスがなにも見つからない場合、マザーボードのBIOSをアップグレードしたり、BIOS設定を確認してください。一部の機種ではデフォルトの状態ではUSBポートの使用が不可に設定されています。また「ユニバーサルシリアルバスコントローラ」のベンダー名、デバイス名はマザーボードによって異なる場合があります。インテル社以外の記述の際もありますので、本体(マザーボード)メーカーにサポートしてもらってください。

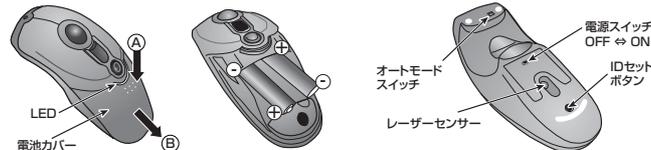


### ■BIOS上でUSBがdisable/ディセーブル(無効)になっている場合(Windowsの場合)

- BIOS上のUSBをenable/イネーブル(有効)にしてください。  
通常BIOSの設定はコンピュータ起動時にF1かF2を押すものが多いですが詳細な設定については、コンピュータ本体の取扱説明書をご覧ください。

## 9. トラックボールマウスの準備(電池の挿入、電源のON・OFF)

1. トラックボールマウスの電池カバーボタンを押しながら(A)電池カバーを手前にスライドして(B)、電池カバーを取り外します。(下図参照)  
※電池カバーの一部は尖っていますので、取り扱いには十分ご注意ください。
2. 付属の単四乾電池をマウスに入れます。電池を入れる際、電池の方向に注意してください。(下図参照)
3. 電池カバーを取り外したとは逆の方向にスライドさせ、取り付けます。
4. 電源スイッチを右にスライドすると電源がONの状態になり、左にスライドするとOFFの状態になります。その際トラックボールマウス表面のLEDが数秒間赤く点灯し、その後消灯します。  
※長時間トラックボールマウスを使用しない場合やトラックボールマウスを持ち歩く際などに、レーザーセンサーが稼働していると電池が消耗しますので、電源をOFFにする事をお勧めします。



### トラックボールマウスLED表示

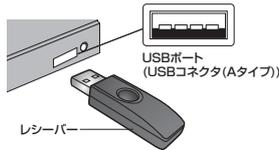
●赤ライト点滅:トラックボールマウスのLEDが赤く点滅の際は、電池が少なくなっていますのですみやかに電池を交換してください。  
●緑ライト点灯:レーザーポインター動作中

- 電池性能:  
連続動作時間/約137時間  
連続待機時間/約3600時間  
使用可能時間/最大約2ヶ月  
(一日8時間/パソコンを使用中に、マウス操作を25%程度行う場合、アルカリ乾電池使用時)  
※弊社社内テストであり、保証値ではありません。

## 10.トラックボールマウスの接続(レシーバーの接続)

### ■レシーバーの接続

- ① コンピューターの電源を入れ、Windowsを完全に起動します。レシーバーを接続する前に他のアプリケーション(ウイルス検索ソフトなどの常駐ファイル)を終了させておくことをお勧めします。
- ② レシーバーをコンピュータのUSBポートに接続します。
- ③ 自動的にハードウェアの検知が始まり、デスクドライバを更新するためのウィザードが起動します。



### 〈Windows 7・Vistaの場合〉

- ④ タスクバーに「デバイスドライバソフトウェアをインストールしています。」「USBヒューマンインターフェイスデバイス」と表示されて、自動的にインストールが完了します。

### 〈Windows XP・2000・Meの場合〉

- ⑤ タスクバーに「新しいハードウェアが見つかりました。」「使用できる準備ができました。」と表示されて、自動的にインストールが完了します。



## 11.IDの設定方法(ID設定はパソコンにトラックボールマウスを識別させる作業です。)

### 重要!

#### 必ずお読みください。

レシーバーの接続が完了したら、トラックボールマウスを動かしてみてください。これでトラックボールマウスが使える場合は、ID設定を行う必要はありませんが、トラックボールマウスが使えない場合は下記の手順でID設定を行ってください。  
もし、動作がスムーズでなかったり、また近い環境で本製品を2台以上お使いの場合は、下記の手順に従ってID設定を行ってください。ご購入後もトラックボールマウスが動作しなくなった場合は、IDの再設定とともに、電池の確認を行ってください。

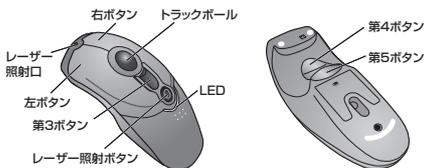


**注意: ID設定を行う際は、トラックボールマウスとレシーバーの距離を10cm以内に近づけて行ってください。**

1. トラックボールマウスの電源スイッチ①をONにしてください。その際トラックボールマウス表面のLED⑤が数秒間赤く点灯し、その後消します。
  2. 指等を使ってレシーバーのIDセットボタン⑥を押します。
  3. レシーバーのIDセットボタン⑥が点滅している間に、トラックボールマウスのIDセットボタン④を押します。
  4. ほんの少しの時間でID認証が行われます。トラックボールマウスを動かしてカーソルが動けば、ID設定は完了です。(レシーバーのLED⑥もマウスの動きに合わせて点滅します。)
- ※上記の設定を行ってもトラックボールマウスが動作しない場合は、再度ID設定を行ってください。  
※IDは4096通り(チャンネルは16通り)あり、自動的に設定されます。2台以上のトラックボールマウスを有効使用範囲内でご使用の際に、動きがスムーズでないといった場合は、このID設定を再度行ってください。ただし、同時に2台以上のトラックボールマウスのID設定を行わないでください。  
※パソコンの電源を立ち上げ直した場合はトラックボールマウスの電源スイッチをON/OFFした場合でも、この設定を再度行う必要はありません。ただし、長時間放置した場合や、完全に電池を消耗した後など、トラックボールマウスを動かしてもレシーバーのLEDが点滅しなくなった場合は上記の設定をやり直してください。

## 12.本製品の使用方法

本製品は2.4GHz RF方式のワイヤレスですので、入力操作の際ケーブルが邪魔になるといった煩わしさがなく、通信範囲は最大半径10mで、快適な環境でコンピュータ操作が可能になります。  
本製品はレーザーマウスでプレゼンター機能を統合し、机上ではワイヤレスレーザーマウス、空中ではトラックボールモードになりレーザーポインターも使えるので、プレゼンテーションにも最適です。Auto-mode機能搭載で、デスクトップでのマウスモードと空中でのトラックボールモードは自動で切り替わります。  
※各ボタンを押したままの状態を持ち上げると誤作動を起こす可能性がありますので、ボタンを押さずにマウス本体を持ち上げてください。なお、モードの切り替えは約1秒ほどかかります。



### ■左ボタン・右ボタン

左ボタンは通常クリック、ダブルクリックに使われます。  
右ボタンはWindowsごとに設定されているマウスの働きをしますし、ポップアップメニューの表示も可能です。

### ■第3ボタン

インターネットやWindows上のドキュメント画面でスクロールモードを使用する際、このボタンをクリックしてトラックボールを回転させてスクロールを行います。スクロールモードを解除するにはこのボタンをもう一度クリックします。トラックボールモード時にはPowerPointの「スライドショー実行/解除(F5/Esc)」の機能となります。

### ■トラックボール

マウスモードの場合は、インターネットやWindows上のドキュメント画面をスクロールさせる際、このボールを回転させて上下左右にスクロールを行います。トラックボールモードの場合は、このボールを回転させてマウスカーソルの移動を行います。

### ■第4ボタン・第5ボタン

トラックボールモードの場合のみMicrosoft PowerPointでページを進めたり戻ったりすることができます。

### ■レーザー照射ボタン

レーザーポインターとして使用する際、このボタンを押すと赤色レーザー光が、レーザー照射口から照射されます。その際LEDは緑に点灯します。

※レーザー光線を顔や目に絶対に向けないでください。また眼鏡等へ照射すると反射光が目が悪くしますので注意してください。

※レーザーポインター機能はマウスモードでは動作しません。

### ■解像度を800count/inchと1600count/inchの間で切り替える方法

マウス本体の左ボタン及び右ボタンを同時に約3秒ほど長押しします。LEDが一瞬赤く点灯し消えたら切り替え完了です。

## 13.「故障かな…」と思ったら

Q.トラックボールマウスカーソルが動かない。

1. トラックボールマウスの電源スイッチがOFFになっていないか確認してください。  
("9.トラックボールマウスの準備"参照)
2. トラックボールマウス裏面の電源スイッチをONにしても、トラックボールマウスが動作しない場合、電池が正しく挿入されているか確認してください。
3. 2の確認してもトラックボールマウスが動作しない場合は、電池の残量が空になっているかもしれないので、新しい乾電池に交換してみてください。("9.トラックボールマウスの準備"参照)
4. レシーバー及びトラックボールマウスのIDが正しく設定されているかどうか確認してください。  
("11.IDの設定方法"参照)

Q.トラックボールマウスをしばらく操作しないと、トラックボールマウス及びレーザーポインターがまったく動かない。

1. 本製品は、電池の消費を抑えるため、しばらくトラックボールマウス操作を行わないとスリープモードに入ります。トラックボールマウスを動かさずと復帰しますが、ほんの少し時間がかかります。すぐに復帰させたい場合は、右ボタンや左ボタンなどをクリックしてください。

Q.トラックボールマウスカーソルの動きがスムーズでない。

1. 光を反射する素材、ガラスなどの透明な素材の上や、規則正しいパターンの上でご使用の際は、トラッキング性能が低下しますので、避けてください。
2. 他のワイヤレスマウスと混雑している場合がありますので、チャンネル及びID番号の設定をやり直してみてください。
3. 金属面の上では、ワイヤレス信号が乱反射し、スムーズに動かない場合がありますので、雑誌やマウスパッド等の上でご使用になってみてください。
4. トラックボールの動きがスムーズでない場合ボール部分のクリーニングをしてみてください。ボールまわりのリングを左にまわして取り出し、ボールを取り出します。綿棒等を使って内部ローラーのゴミを取り除いてください。(クリーニングの際、水気のある物を使用してクリーニングしないでください。)ボール、リングの取り付けは逆の手順で行ってください。

Q.Windowsのディスプレイモードに出ているトルールカラーを選択するとスクロールの動きがおかしくなった。

1. ハイカラーモードを選択してください。
2. トールハイカラーでは、CPUからデータを伝えるのに時間がかかります。このため、スピードコントロールの動きが遅くなるのです。

## 14.保証規定

1. 保証期間内に正常な使用状態でご使用の場合に限り品質を保証しております。  
万一保証期間内で故障があった場合は、弊社所定の方法で無償修理いたしますので、保証書を製品に添えてお買い上げの販売店までお持ちください。
2. 次のような場合は保証期間内でも有償修理になります。
  - (1) 保証書をご提示いただけない場合。
  - (2) 所定の項目をご記入いただけない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
  - (3) 故障の原因が取扱以上の不注意による場合。
  - (4) 故障の原因がお客様による輸送・移動中の衝撃による場合。
  - (5) 天変地異、ならびに公害や異常電圧その他の外部要因による故障及び損傷。
3. お客様ご自身による改造または修理があったと判断された場合は、保証期間内での修理もお受けいたしかねます。
4. 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接、間接の損害については弊社はその責を負わないものとします。
5. 本製品を使用中に発生したデータやプログラムの消失、または破損についての保証はいたしかねます。
6. 本製品は医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器などの人命に関わる設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器やシステムなどへの組み込みや使用は意図されておりません。これらの用途に本製品を使用され、人身事故、社会的障害などが生じても弊社はいかなる責任も負いかねます。
7. 修理ご依頼品を郵送、またはご持参される場合の諸費用は、お客様のご負担となります。
8. 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。
9. 保証書は日本国内においてのみ有効です。

## 保証書ラベル貼付欄

※保証書ラベルを貼付し大切に保管してください。

最新の情報はWEBサイトで!! <http://www.sanwa.co.jp/>

- サポート情報
  - ドライバのダウンロード
  - Q&A(よくある質問)
  - 各種対応表
- など、最新情報を随時更新しています。

▼トップページから

▼"サポート"コーナーへ



ご質問、ご不明な点などがございましたら、ぜひ一度、弊社WEBサイトをご覧ください。

## サンワサプライ株式会社

2010.8現在

岡山 サプライセンター / 〒700-0825 岡山県岡山市北区田町1-10-1 TEL.086-223-3311 FAX.086-223-5123  
 東京 サプライセンター / 〒140-8566 東京都品川区南大井6-5-8 TEL.03-5763-0011 FAX.03-5763-0033  
 札幌営業所 / 〒060-0807 札幌市北区北7条西5丁目ストークマンション札幌 TEL.011-611-3450 FAX.011-716-8990  
 仙台営業所 / 〒983-0851 仙台市宮城野区権町1-6-37 宝栄仙台ビル TEL.022-257-4638 FAX.022-257-4633  
 名古屋営業所 / 〒453-0015 名古屋市中村区権町1-6-7 カジヤマビル TEL.052-453-2031 FAX.052-453-2033  
 大阪営業所 / 〒532-0003 大阪市淀川区宮原4-1-45 新大阪八千代ビル TEL.06-6395-5310 FAX.06-6395-5315  
 福岡営業所 / 〒812-0012 福岡市博多区博多駅前2-20-2 博多相互ビル TEL.092-471-6721 FAX.092-471-8078

10/08/VMDet